

# 第7回チャリティーたまご会

9月9日 たまごビル

## リーダーシップ —有事では衆議独裁が必要—

### 強力なリーダーシップが必要

1 ○人は人生が配ってくれたカードでやっていくもので、カードが悪いと愚痴をこぼすものではない。

○人間は困難に直面した時  
我が身の不運を嘆き 誰かを恨み、愚痴を零す  
↓  
人生の分岐点  
↑  
立ち向かい乗り越える努力をする  
生きてきた時間の長さでなく  
そのなかで培われた価値観や人生観で決断

2 ○与えられた条件で闘うことの覚悟を持つ。  
“これがない”、“あれがなければできない”は平時の思想

○帰納法的思考 × 演繹法的思考  
(医療関係者の考え方) (行政担当者の考え方)

○優先順位の決定  
各部署や組織内にとっての最優先事項を組織全体として整理するのがトップの責務  
何かを得ようとするれば何かを失わなければならない。  
⇒自分の価値観を基にして、なすべきこと(したいこと)の優先順位を付けること!

3 ○「倒れても膝立ちで戦う」  
⇒困難に遭遇したとき、その困難を「悪いこと」と捉えず「自分を鍛える機会」と考え、克服すべき「真理について」セネカ  
⇒誇りと自負を持って挑戦して欲しい!  
⇒「透れられぬ容なら笑って迎えよ」

○ 1) 世の中がヒステリックになると、言葉尻だけをとらえて攻撃してくる輩(やから)がいる。  
2) “正義”を背に他を難する者の言は、いつの世も空しい。(狩野博幸)  
3) 警鐘を鳴らす奴は、いつも安全なところにいる。  
「ドン・キホーテ」ミゲル・デ・セルバンテス

4 ○一旦任せたら辛抱強く待つ。  
:使える人、時間は限られている(逸る気持ちの抑制)

○科学が確実な因果関係を設定できない領域では、科学的合理性を超えた配慮が必要  
村上一郎 読書新聞 2011年8月1日  
安全と安心の統合が必要

○他人へ少しでも関心を持つ。  
自分に関して、自分より関心を持っている人間はいない。

5 ○組織のリーダーは、覚悟と忍耐が必要  
・他人の非難を受けずに済む仕事を見付けるのは、容易ではない。間違いは起きるし、何一つ間違わなくても不当な批判を避けることは難しい。  
「ソクラテスの思い出」クセフォノン

○「拙速」の重視  
走りながら考える。  
現場に任せて、トップはそれを支える。  
担保はトップの「責任」と人々の「共感」  
※修羅の場では「迅速」は所詮無理!

6 ○トップは、貴方の働き(存在)に感謝している(知っている)というメッセージを明確に当事者達に伝えること  
“知られざるを憂えず”(孔子)は、有事では役に立たない

○道を切り拓くことは、出来た道を速く走るよりも遙かに難しい。  
⇒責任をとる覚悟が必要

7 Fukushimaの「悲劇を奇跡に」  
一戦禍と技術革新—

第1次世界大戦 (人類初の国家総力戦)  
戦車の実験配備  
空軍力の開発  
潜水艦の本格展開

動力源の革新  
内燃機関の実用化  
馬、石炭、蒸気から石油へ  
印刷技術の普及  
大量生産システムの創設(製造ライン)

第2次世界大戦  
電子工学の開発  
レーダー、通信、コンピュータ  
映像、音声技術の発達  
テレビ、テープレコーダー、写真  
原子力技術

情報技術の発展  
エレクトロニクス  
バイオテクノロジー  
航空産業

福島第1原発事故  
誰も経験したことのない廃炉作業  
人類の暮らしを変える  
発明や発見の期待  
“我々の使命は医療の面から現場や地域を支えること”

8 “残っているのは希望だけ”  
—あの時の動き、優しさを忘れてはいけない—

日本人の動き  
—世界の人人に与えた感動—

自衛隊や警察車両への労い  
—支援者への大きな励み—

紙面の関係上全て記載する訳にはいきませんが、菊地臣一先生には一般の方にも分かりやすくお話をしていただき、みなさん認識を新たにされました。  
私は日本国民の一人として、放射能汚染対策・地震・津波の災害に対処していただいた、また現在も対処していただいている方々に感謝申し上げます。  
ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

紙面の関係上全て記載する訳にはいきませんが、菊地臣一先生には一般の方にも分かりやすくお話をしていただき、みなさん認識を新たにされました。  
私は日本国民の一人として、放射能汚染対策・地震・津波の災害に対処していただいた、また現在も対処していただいている方々に感謝申し上げます。  
ありがとうございます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

# 日本国民への提言

日本の国民一人ひとりが、自らの「からだ」の「しくみ」を生かすことで、日本を再生する

第7回東日本大震災チャリティーたまご会が9月9日、たまごビルで開催されました。今年の演題は「①「からだ」のしくみとしての「しくみ」②組織の危機管理へのリーダーシップ」の二本立てです。

講師は、前福島県立医科大学学長・理事長 菊地臣一先生(写真)でした。

9月15日号では、「からだ」のしくみとしての「しくみ」の講演内容を紹介させていただきます。10月15日号では、絞られた焦点IIストレスと腰痛に対してたまご理論でその「しくみ」を述べ、さらに「上腹部の柔軟性」と慢性疾患の関係を述べました。

「問題点を正しく提起されたときに、それ自体が解決である」という言葉があります。菊地先生は「結果としての病気を部分的に診る医療から」「からだ」の「しくみ」がスムーズに「からだ」のしくみとして機能する。

「問題点を正しく提起されたときに、それ自体が解決である」という言葉があります。菊地先生は「結果としての病気を部分的に診る医療から」「からだ」の「しくみ」がスムーズに「からだ」のしくみとして機能する。

菊地先生は、30年4月14日「放射能汚染から「いのち」を守る」風評被害を乗り越える清水修「福島大学名誉教授」を予定しています。

第八回は、30年4月14日「放射能汚染から「いのち」を守る」風評被害を乗り越える清水修「福島大学名誉教授」を予定しています。

「組織の危機管理へのリーダーシップ」の講演は、29年9月9日、たまごビルにて開催されました。講師は、前福島県立医科大学学長・理事長 菊地臣一先生(写真)でした。

講演内容は、「からだ」のしくみとしての「しくみ」の講演内容を紹介させていただきます。10月15日号では、絞られた焦点IIストレスと腰痛に対してたまご理論でその「しくみ」を述べ、さらに「上腹部の柔軟性」と慢性疾患の関係を述べました。

質疑応答  
東大阪市立医療センター院長 辻井 正彦  
八尾警察総務課長 西川 明男  
八尾市危機管理監 佐野 正樹  
八尾市消防本部次長 森本 勝久

また、当日は災害への予防が大きな目的でしたので左記各氏も参加され八尾東大阪地域の災害に対する安全を守るために、「組織の危機管理におけるリーダーシップについて」活発な質疑応答が菊地先生との間で交わされました。その一部を紹介させていただきます。

○東大阪市立医療センター院長 辻井 正彦  
質疑 脊髄狭窄症で痛みと嘔吐がひどいときがあるのですがどうなっているのでしょうか。  
応答 痛みと嘔吐がひどいときは、手術をなさなければいけません。手術で治らなく、患者さんがいることが分かります。その原因を調べると、心理的なことにも原因があることが分りました。そのため、福島県立医科大学では整形外科と心療内科が協力して患者さんを見ています。心理テストで異常が出た場合手術をしません。慢性的な痛みはストレスが原因である場合が多いです。

また、ある県の消防の方々が物資を運んでくれたのですが、福島県境まで搬送して、わたしたちが荷物を取りに行かなくてはなりません。正しく放射能汚染に対する知識IIその時点では人体に支障がない、にもかかわらず正しい情報が知られていないために余分な労力が必要でした。客観的な正しい知識が必要でした。

日本の危機管理の予備能力は0です。自衛隊では20万人のうち10万人が非常勤務で残りの10万人が全部救援に出ました。予備能力がゼロでした。何かあったら対応できない状態でした。自衛隊・警察・消防・病院など予備能力がありません。それが無いとリスク管理はできません。やはり、国民が真剣に考えることです。

原発事故が発生した日に、東京で講演会に参加していただきました。そのとき、アメリカ人の参加者にはアメリカ大使館から人が来て、退避するよう指示があり航空機の手配までしていただきました。

当時日本では重大事故の認識がありませんでしたが、アメリカではすでに国外退避の指示が出たのです。日本の危機に対する情報把握能力がなかったと思われれます。日本には危機意識がなかったと思われれます。日本も、日本を守るための情報収集能力を上げる必要があります。

# 組織の危機管理へのリーダーシップ

入居費用 敷金 0円  
月額費用 109,800円  
※入居条件:要介護1~5、65歳以上の方

内訳 家賃42,000円  
管理費24,600円  
食費43,200円

介護ヘルパー募集! お気軽にお電話ください。 TEL.06-6535-5501

【運営主体】(株)日健マネジメント

居室数50戸

0120-49-5502

入居相談受付中

安心 充実

サポート! ご高齢の方が、安心、快適に暮らせるバリアフリー設計

24時間スタッフ常駐

専門の食事会社による食事提供など、万全の生活サポート!!

大阪府八尾市老原4-98 JR大和路線 「志紀」駅徒歩約13分

現地案内担当 小山 博(河内新聞社長) 090-8213-4712

住宅型有料老人ホーム フォーユー八尾

介護ヘルパー募集! お気軽にお電話ください。 TEL.06-6535-5501

【運営主体】(株)日健マネジメント

居室数50戸

0120-49-5502

入居相談受付中

安心 充実

サポート! ご高齢の方が、安心、快適に暮らせるバリアフリー設計

24時間スタッフ常駐

専門の食事会社による食事提供など、万全の生活サポート!!

大阪府八尾市老原4-98 JR大和路線 「志紀」駅徒歩約13分

現地案内担当 小山 博(河内新聞社長) 090-8213-4712